

平成29年度 全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技（福島開催） 競技上の注意

（公財）全国高等学校体育連盟ハンドボール専門部

1 競技規則

本大会は、平成29年度（公財）日本ハンドボール協会競技規則ならびに（公財）全国高体連ハンドボール専門部内規及び申し合わせにより実施する。

2 競技時間

- ①30分（前半）－10分（休憩）－30分（後半）とする。
- ②延長戦は、準決勝戦までは第一延長を行う。それでも勝敗が決しない場合は、7mスローコンテスト（5人制）で勝敗を決する。決勝戦は、第二延長まで行い、それでも勝敗が決しない場合は、7mスローコンテスト（5人制）で勝敗を決する。
- ③加算式の電光表示時計を使用する。
- ④競技終了の合図・チームタイムアウトは、ホーン（ブザー）で行う。
- ⑤退場時間は、退場者電光表示板で表示する。入場はチームの責任によって行う。

3 大会使用球

（公財）日本ハンドボール協会検定球（人工皮革）を使用する。

〔品番 モルテン 男子 H3X4000 女子 H2X4000 ミカサ 男子 HB3000 女子 HB2000〕

奇数年度	男子	女子		男子	女子
第1日目	モルテン	ミカサ	準々決勝	ミカサ	モルテン
第2日目	ミカサ	モルテン	準決勝	モルテン	ミカサ
第3日目	モルテン	ミカサ	決勝	ミカサ	モルテン

4 競技会場

県営あづま総合体育館 40m×20m×2面
福島市国体記念体育館 40m×20m×2面
福島市西部体育館 38m×20m×1面
福島商業高等学校体育館 38m×20m×1面

5 ユニフォームの確認等

- ①ユニフォームの確認は、第一試合は開始時間30分前、第二試合以降は前試合の前半終了直後に、試合会場オフィシャル席前で、両チームの代表者出席のもとで行われる。その試合に着用する全てのユニフォームを持参すること。
- ②メンバー表の提出の代わりに、各コート台帳で確認する。
- ③トスはユニフォーム確認時に行う。

6 参加資格等について

- ①代表者会議で決定したチーム役員・選手のみが競技に参加できる。
- ②ベンチは、役員3名（監督1名・役員2名とし引率責任者を含む）・選手14名の計17名以内とする。役員はプログラムに記載された者で、本大会専用のIDカードを着用すること。
- ③公式記録用紙に記載されている者だけが、交代地域に入ることができる。
- ④チーム責任者は、試合開始前に、チーム役員および選手の氏名と背番号が正しく記載されているかを確認し、記録用紙にサインする。
- ⑤選手・役員は試合前のユニフォーム確認時に登録証を一括提出（5①）し、さらに試合直前に審判員から本人の確認を受ける。

7 2足制の厳守

体育館シューズ、屋外シューズを区別し、内外兼用は禁止する。

8 松ヤニ等の使用・練習会場について

全ての競技会場・練習会場において両面テープのみの使用を許可する。
（松ヤニおよび松ヤニスプレーは不可とする。）

9 交代地域での飲料水使用について

- ①コップ等の使用をさげ、ストロー付、または飲み口の細い容器を使用すること。
- ②交代地域及びベンチ付近がぬれないよう配慮すること。

10 裁定委員会 TD

- ①本大会に裁定委員会を置く。委員は、競技委員長・競技副委員長・総務委員長・審判長とする。なお、必要に応じて関係者を同席させる。
- ②裁定委員会は、大会に関係した全ての問題を審議し、その対応を決定する機関である。
- ③本大会にO・TDを3回戦より置く。（2回戦まではTDが兼務する）

11 その他

- ①ユニフォーム等の着替えは、必ず更衣室を利用すること。